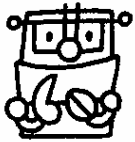


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /
人とかんきょう / 理解シート

かんきょう問題で、子どもにできることは、あるの



水、電気、紙、食べ物など、なんでもむだ使いしないで、大切に使うことがかんきょう問題に役立つのさ。

かんきょう問題は、石油や石炭を大量に燃やすことから起きた

かんきょう問題といわれるものには、地球の温暖化^{おんだんか}、大気おせん、光化学スモッグ、酸性雨などがあります。これらは、工場や発電所、乗り物のエンジンなどで、石油や石炭などの燃料を、大量に燃やすようになって起きてきたといわれます。

燃料を高温で燃やすと、ちっ素と酸素がくっついた気体や、硫黄^{いおう}と酸素が結びついた気体ができてきて、大気おせんの原因になっています。これらが、雨水にとけると、酸性雨になります。また、これらの気体が、強い日光のはたらきで複雑な化学変化を起こすと、光化学スモッグが発生します。

物を燃やすといちばん大量に出てくるのは、二酸化炭素です。地球温暖化の問題は、空気中の二酸化炭素の量がふえてきたためといわれています。

電気やガス、水道などを節約すれば、かんきょうが悪くなるのを防げる

冷蔵庫の卵^{たまご}で目玉焼きをつくる、シャワーやお風呂、クーラーやストーブを使い、テレビを見、新聞を読む、ペットボトルの飲料水を飲むなどのふつうの生活の中で、ガス、電気、水をたくさん使っていることに気がついていませんか。ガス、電気、水道水をつくるのに、たくさんの燃料が使われています。紙をつくるのには、木が切りたおされ、大量の水や電気が使われます。プラスチックごみは、燃やすと有毒なガスを発生することが多く、土にうめると分解されないため問題になっています。水の出しっぱなしやテレビのつけっぱなしをやめ、冷暖房^{れいだんぼう}の温度をひかえめに調節し、冷蔵庫の開け閉めの回数をへらす、ペットボトルの飲み物を買わないなどで、電気、ガスなどを節約することで、かんきょう問題をへらせます。

だれでもできることをすれば、かんきょう問題を少しでもへらせるんだね。

